2019（平成 31）年度

大学院入学試験要項

地域文化研究科（修士課程）

南 島 文 化 専 攻

英米言語文化専攻

人 間 福 祉 専 攻

地域産業研究科（修士課程）

地 域 産 業 専 攻

法 学 研 究 科（修士課程）

法 律 学 専 攻

沖縄国際大学
Okinawa International University

〒901-2701
沖縄県宜野湾市宜野湾二丁目 6 番 1 号
TEL　098-893-8945　FAX　098-893-3271
http://www.okiu.ac.jp/
E-MAIL：entchr@okiu.ac.jp

目　次

人材養成に関する教育研究上の目的について	**1**
アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	**2**
Ⅰ．入学試験日程・募集人員	**4**
Ⅱ．出願資格	**5**
Ⅲ．出願手続	**8**
Ⅳ．選抜方法	**10**
Ⅴ．出願資格審査・出願資格審査合格者選抜試験	**12**
Ⅵ．渡日前入学許可制度	**14**
Ⅶ．試験・合格発表	**16**
Ⅷ．出願・受験上の注意	**16**
Ⅸ．入学手続	**17**
Ⅹ．大学院入試 Q&A	**18**

●本学所定の出願書類

①入学志願票（研究科・専攻別）

②履歴書

③志望理由書

④研究計画書

⑤業績報告書

⑥出願資格審査願

人材養成に関する教育研究上の目的について

【地域文化研究科】

地域文化研究科では、幅広い視野に立ち、精深な学識を授けるとともに、各専門分野における研究能力を高めることによって、高度専門職業人としての資質を磨き、地域社会や国際社会に貢献しうる人材を育成することを目的とする。

1. 南島文化専攻では、言語文化、民俗文化、先史・歴史文化、社会文化の４領域において高度な知識と専門性の高い人材を育成することを目的とし、地域社会や国際社会の諸問題の解決を適切に処理する能力を修得させる。

2. 英米言語文化専攻では、英米文学、英語教育学、日本語教育学において高度な知識と技術を持つ人材を育成することを目的とする。具体的には、英米の言語文化および外国語としての日本語の教育研究に留まらず、沖縄という地域の特性を常に考慮し、将来の沖縄を背負い国際的に通用する人材の育成を行う。

3. 人間福祉専攻・社会福祉学領域では、社会福祉学の理論及び実践に関する見識を深めるとともに、社会福祉現場や地域社会における福祉課題などへの取り組み、学際的かつ実践的教育研究活動を通して、将来、地域社会における諸問題に対して、専門的立場から適切な解決をはかり福祉社会の構築に資することのできる人材を養成することを目的とする。

4. 人間福祉専攻・臨床心理学領域では、複雑な社会に生きる人間の抱える問題に関して、地域に立脚しつつ、心理的な問題の解決に貢献できる高度の知識を備えた専門的職業人の養成を目的とする。

【地域産業研究科】

地域産業研究科では、精深かつ科学的、体系的な知識を授けることにより、地域産業振興の原動力となり得る高度の専門知識を有する人材を育成し、地域経済社会の発展に資することを目的とする。

【法学研究科】

法学研究科では、幅広い視野に立ち、法律学の各分野における研究能力を高めることによって、法律研究者を養成するとともに、高度専門職業人としての資質を磨き、地域社会や広く国際社会に貢献しうる人材を育成することを目的とする。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

【地域文化研究科】

南島文化専攻

本研究科本専攻が入学者として求めるのは、以下のような人物です。

1. 言語文化領域においては、南島地域の言語および文学に強い関心を有する人物。または、日本の古典文学や近現代文学、国語教育学に強い関心を有する人物。
2. 民俗文化領域においては、南島地域の民俗文化に強い関心を有する人物。または、南島地域の周辺地域である東アジア・東南アジア地域の民俗文化に強い関心を有する人物。
3. 先史・歴史文化領域においては、南島地域の先史文化あるいは歴史文化に強い関心を有する人物。または、南島地域の周辺地域である東アジア・東南アジアとの関係史に強い関心を有する人物。
4. 社会文化領域においては、南島地域の社会関係の特質、南島社会における文化問題に強い関心を有する人物。または、南島社会の抱える現代的な問題に深い関心を有する人物。

英米言語文化専攻

本専攻の教育目標を理解し、幅広い視野と柔軟な思考を備えた受験者を広く国内外から求めます。

1. 言語文化・言語教育に関して強い学習意欲を持つ人物。
2. グローバル社会に対応できる専門性の獲得を目指す人物。
3. 教育機関における実践的・学術的指導者を目指す人物。

人間福祉専攻・社会福祉学領域

人間福祉専攻社会福祉学領域においては、以下のいずれかの条件を満たす人物を本課程の学生として受け入れます。

1. 社会福祉学に関する一定以上の知識と語学力を有すると認められた人物。
2. 在職する行政機関、社会福祉施設、社会福祉協議会、医療機関等の長から推薦がある人物で、一定以上の社会福祉学に関する知識を有すると認められた人物。
3. 学校、教育委員会等の代表者の推薦がある人物で、一定以上の社会福祉学に関する知識を有すると認められた人物。

人間福祉専攻・臨床心理学領域

【本領域の教育目標】

1. 臨床心理学領域における専門知識と技能を兼ね備え、保健医療、福祉、教育その他の分野において活躍できる公認心理師・臨床心理士を養成します。
2. 時代や社会の要請に応え、現代社会における人の安寧につながる研究ができる人材を養成します。
3. 現代社会における諸問題について心理学的視座から、高度な専門的技能を用い、多職種と協働しながら、実践的な問題解決が図れる人材を養成します。

本領域の教育目標を理解し、人間のこころに関心を持ち、幅広い視野と柔軟な思考を備え、高度な専門職をめざす、以下のような人物をもとめます。

1. 公認心理師・臨床心理士をめざす人物。
2. 心理学の基礎的知識と対人関係能力を、一定以上身につけている人物。
3. 心理学の実証的研究手法を通して、心理学的現象を論理的に考え説明できる力が身についている人物。
4. 心理学的視座から現代社会における諸問題について関心を持ち、人とのつながりの中で実践的に問題を解決していくことができる人物。

【地域産業研究科】

地域産業研究科は、経済、経営、マーケティング、会計、情報、環境などの学術分野の有機的な連携の下に、各領域の専門性の深化と併せて広い視野に立った思考能力を有する専門的職業人を養成することを目的としています。そのため、以下のような人物を受け入れます。

1. 各専攻領域に関する知識及び専門的な素養を有する人物。
2. 企業、行政および教育などの実務現場で将来、地域社会、国際社会の発展に寄与できる豊かな素養と能力・意欲を備えた人物。

【法学研究科】

法学研究科では、その教育目的を達成するために、入学者には、大学卒業程度の基礎的学力を持っていることを前提として、特に以下の点について十分な適性をもっていることを望みます。

1. 法学に関して深い関心をもち、自ら学び研究する意欲を持っている人物。
2. 法学の諸分野において、自らの問題意識から課題を設定して、修士論文を作成する強い意思を持っている人物。
3. 法学に関する高度な専門的知識を持つ職業人として、地域社会および国際社会の一員として活動することを希望する人物。

Ⅰ　入学試験日程・募集人員

1．入学試験日程

	9月試験	2月試験
入試種別	●一般選抜試験 ●推薦選抜試験 ●社会人選抜試験 ●外国人特別選抜試験 　地域産業研究科 ●渡日前入学許可制度 　地域産業研究科 　地域文化研究科 英米言語文化専攻	●一般選抜試験 ●推薦選抜試験 ●社会人選抜試験 ●外国人特別選抜試験 　地域産業研究科
入学試験日	2018年9月23日（日）	2019年2月3日（日）
検定料納入期間	2018年9月3日（月）～9月10日（月）	2018年12月21日(金)～2019年1月4日(金)
出願期間	2018年9月3日（月）～9月10日（月） ＊郵送に限る。（最終日消印有効）	2018年12月21日(金)～2019年1月4日(金) ＊郵送に限る。（最終日消印有効）
合格発表日	2018年10月3日（水）午前11時	2019年2月19日（火）午前11時
入学時納入金 納入期間	2018年10月4日(木)～10月15日(月)	2019年2月20日（水）～3月1日（金）
入学手続期間	2018年10月4日(木)～10月15日(月) ＊郵送に限る。（最終日消印有効）	2019年2月20日（水）～3月1日（金） ＊郵送に限る。（最終日消印有効）

2．募集人員

研究科・専攻		募集人員	9月試験	2月試験
地域文化研究科	南島文化専攻	10人	若干名	若干名
	英米言語文化専攻	3人	若干名	若干名
	人間福祉専攻	10人	若干名	若干名
	（社会福祉学）	(5人)	(若干名)	(若干名)
	（臨床心理学）	(5人)	(若干名)	(若干名)
地域産業研究科	地域産業専攻	10人	若干名	若干名
法学研究科	法律学専攻	8人	若干名	若干名

※募集人員は一般・推薦・社会人・外国人・渡日前を含む

※（　）は人間福祉専攻の内数

Ⅱ　出願資格

１．出願資格

①の出願資格を満たし、②～⑫の各号の一に該当する者で、かつ、外国人留学生は、⑬のイ～ハの全てに該当する者とする。

① 沖縄国際大学大学院のアドミッション・ポリシー（専攻別アドミッション・ポリシー含む）を熟読し、十分に理解した者

② 大学を卒業した者〔2019 年 3 月卒業見込みの者を含む〕

③ 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者

④ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者〔修了見込みの者を含む〕又はこれと同等以上の学力があると本研究科が認めた者

⑤ 外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者

⑥ 外国の学校が行う通信教育を日本において履修することにより当該国の 16 年の課程を修了した者

⑦ 日本において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者

⑧ 指定された専修学校の専門課程を修了した者〔2019 年 3 月修了見込みの者を含む〕

⑨ 大学に 3 年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者

⑩ 旧制学校等を修了した者

⑪ 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者〔2019 年 3 月修了見込みの者を含む〕

⑫ その他、当該研究科が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

⑬ 外国人留学生として出願する場合は、次の各号のすべてに該当しなければならない。

イ．日本に国籍を有しない者

ロ．「出入国管理及び難民認定法」における「留学」の在留資格を有する者又は入学後に在留資格を「留学」に変更できる者

ハ．修学及び研究活動に必要な日本語の能力を有する者

注 1．出願資格④（又は～以下文）、⑤、⑨、⑫により出願しようとする者は、出願資格認定のため「出願資格審査」を要します（P.12 参照）。但し、法学研究科法律学専攻においては、過年度の出願資格審査に合格した者にも今年度の出願を認めますので、今年度に再度出願資格審査を受ける必要はありません（P.13 の「2. 出願資格審査合格者選抜試験」を参照）。

「出願資格審査」を実施する研究科・専攻は次のとおり。

地域文化研究科　南島文化専攻

地域文化研究科　英米言語文化専攻

法学研究科　法律学専攻

注 2．出願資格⑫については、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者や外国人大学日本分校等の修了者（2019 年 4 月 1 日時点で満 22 歳に達する者）で、大学卒業資格を有していない者であっても、当該研究科において「出願資格審査」により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者です。

※ 1　上記②～⑬の文中に記されている各課程及び施設の詳細については、文部科学省のホームページを必ず参照すること。（http://www.mext.go.jp/）

※ 2　出願資格等について不明な点がある場合は、事前に入試センターまで問い合わせること。出願直前に問い合わせると、手続が間に合わない場合があるので、時間に余裕を持って、早めに問い合わせること。

※ 3　上記の出願資格を満たし、かつ、各入試種別における出願条件（PP.6 ～ 7 参照のこと）を満たさなければ出願はできません。

２．各入試種別出願条件

地域文化研究科

1）一般選抜入学	出願資格（P.5）に該当するもの
2）推薦選抜入学	出願資格（P.5）に該当し、かつ次の各号の一に該当する者 **【南島文化専攻】** ①本学文学部または総合文化学部を卒業した者、または 2019 年 3 月卒業見込みで、指導教員の推薦のある者 ②在職する各自治体の首長等の推薦のある者 ③在職する学校、教育委員会の代表者の推薦のある者 **【英米言語文化専攻】** ①本学文学部英文学科・国文学科または総合文化学部英米言語文化学科・日本文化学科を卒業した者、または 2019 年 3 月卒業見込みで、指導教員の推薦のある者 **【人間福祉専攻】** ①本学文学部または総合文化学部を卒業した者、または 2019 年 3 月卒業見込みで、指導教員の推薦のある者 ②在職する各自治体の首長等の推薦のある者 ③社会福祉関連の施設及び行政機関、社会福祉協議会、医療機関並びにこれらに準ずる団体等に在職し、その所属長の推薦のある者（※社会福祉学領域のみ） ④在職する学校、教育委員会の代表者の推薦のある者
3）社会人選抜入学	出願資格（P.5）に該当し、かつ次の各号の一に該当する者 （英米言語文化専攻以外は外国人留学生を除く） **【南島文化専攻・英米言語文化専攻】** ①当研究科入学時において、大学卒業後 2 年以上経過した者 ②大学入学時において社会人特別選抜制度の適用を受けた者 **【人間福祉専攻】** ①当研究科入学時において、大学卒業後 2 年以上経過した者 ②大学入学時において社会人特別選抜制度の適用を受けた者 ③大学を卒業し、所属する団体長等の推薦がある者
4）渡日前入学許可制度	**【英米言語文化専攻】**渡日前入学許可制度については P.14 を参照。

地域産業研究科

1）一般選抜入学	出願資格（P.5）に該当するもの（外国人留学生を除く）
2）推薦選抜入学	出願資格（P.5）に該当し、かつ次の各号の一に該当する者 **【地域産業専攻】** ① 2019 年 3 月に本学経済学部及び産業情報学部を卒業見込みの学業成績優秀な者で、指導教員の推薦のある者 ②在職する各自治体の首長等の推薦のある者 ③在職する学校、教育委員会の代表者の推薦のある者 ④企業の代表者の推薦のある者 ⑤その他の各種団体の長の推薦のある者
3）社会人選抜入学	出願資格（P.5）に該当し、かつ次の各号の一に該当する者（外国人留学生を除く） **【地域産業専攻】** ①当研究科入学時において、大学卒業後 5 年以上経過した者 ②当研究科入学時において、3 年以上の常勤の実務経験を有し、かつ 25 歳以上の者 ③大学入学時において社会人特別選抜制度の適用を受けた者
4）外国人特別選抜入学	次の①～④すべてに該当する者 **【地域産業専攻】** ①外国籍を有する者 ②「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を有する者または取得できる者 ③外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者（入学迄に修了見込みの者を含む）、又はそれと同等以上の学力があると本研究科が認めた者 ④修学に必要な日本語能力を有する者
5）渡日前入学許可制度	**【地域産業専攻】**渡日前入学許可制度については P.14 を参照。

法学研究科

1）一般選抜入学	出願資格（P.5）に該当するもの
2）推薦選抜入学	出願資格（P.5）に該当し、かつ次の各号の一に該当する者 **【法律学専攻】** ① 2019 年 3 月に本学卒業見込みの学業成績優秀な者で、指導教員の推薦のある者 ②在職する各自治体の首長等の推薦のある者 ③弁護士会、司法書士会、行政書士会、社会保険労務士会及びこれらに準ずる団体等の長の推薦のある者 ④在職する企業の代表者の推薦のある者
3）社会人選抜入学	出願資格（P.5）に該当し、かつ次の各号の一に該当する者（外国人留学生を除く） **【法律学専攻】** ①当研究科入学時において、大学卒業後 2 年以上経過した者 ②大学入学時において社会人特別選抜制度の適用を受けた者

※　今年度又は過年度に「出願資格審査」を受験し合格した者は、別途定める「出願資格審査合格者選抜試験」（P.13）に出願してください。

Ⅲ　出願手続

1．出願書類

下記の書類を、本学所定の出願用封筒を使用し、速達書留で郵送すること。
※証明書等については出願期間前の 3 か月以内に発行されたものに限る。

出願書類	摘　要	推薦	一般	社会人	外国人（地域産業研究科）
①入学志願票 A 票～ C 票	出願 3 か月以内に撮影した上半身脱帽正面無背景の写真を枠内に添付すること。 縦 4cm× 横 3cm　＊カラーに限る。	○	○	○	○
②卒業証明書	出身大学の学長（学部長）が作成したもの (2019 年 3 月卒業見込みの者は、卒業見込証明書) ＊証明書氏名に改姓のある者は戸籍抄本を添付すること ＊提出する証明書は必ずオリジナル（原本）を提出すること（コピー不可)。オリジナル（原本）が提出できない場合は、Certified True Copy（卒業した学校又は公証人役場等の公的機関で、原本から正しく複製されたものであることを証明した書類<例：公証書等>）を提出すること。	○	○	○	○
③成績証明書	＊在籍した大学等のもの。 ＊提出する証明書は必ずオリジナル（原本）を提出すること（コピー不可)。オリジナル（原本）が提出できない場合は、Certified True Copy（卒業した学校又は公証人役場等の公的機関で、原本から正しく複製されたものであることを証明した書類<例：公証書等>）を提出すること。	○	○	○	○
④履歴書 ＊本学所定様式	本学所定の用紙により提出すること。	○	○	○	○
⑤在職証明書	推薦・社会人選抜入学の出願条件の有職者に該当する者。 ＊個人事業主は不要。	○	—	○	—
⑥志望理由書 ＊本学所定様式	本学所定の用紙により提出すること。	○	○	○	○
⑦研究計画書 ＊本学所定様式	本学所定の用紙により提出すること。 ＊法学研究科は不要。	○	○	○	○
⑧業績報告書 ＊本学所定様式	卒業論文、研究報告書、学術論文の業績を有する者は、その概要をまとめて提出すること。卒業論文等執筆中の者は執筆中と表記した上で、その論文名、要旨等を記入し提出すること。業績のない者は「特になし」と記入し提出すること。 ＊法学研究科は提出不要。	○	○	○	○
⑨住民票又は在留カードのコピー	在留カードの場合は、在留資格及び在留期間を確認するため、表、裏両面をコピー（A4）すること。	外国人のみ	外国人のみ	—	○
⑩パスポート及びビザのコピー	写真、氏名、パスポート番号のページと日本への出入国歴のあるページのコピー（A4）を必ず提出すること。	外国人のみ	外国人のみ	—	○
⑪推薦状	指導教員、または各種団体の長の推薦状。	○	—	＊人間福祉専攻で団体長の推薦がある者のみ提出	○
⑫送付用宛名シール ＊本学所定	本学所定の用紙に連絡先を記載し提出すること。	○	○	○	○

※その他、必要に応じて追加書類の提出を求めることがあります。
※受験の際に、特別な配慮を要する者は、入学検定料の受付開始日前（9 月試験：2018 年 8 月 31 日、2 月試験：2018 年 12 月 20 日）までに本学入試センターへ問い合わせてください。
※出願資格審査、出願資格審査合格者選抜試験については、P.12 を参照。
※渡日前入学許可制度については P.14 を参照。

2．入学検定料

入学検定料	30,000 円	
納入期間	9 月試験	**2018 年 9 月 3 日（月）～ 9 月 10 日（月）**
	2 月試験	**2018 年 12 月 21 日（金）～ 2019 年 1 月 4 日（金）**
注意事項	入学志願票（A ～ F 票）に必要事項を記入し、金融機関で振り込むこと。 なお、いったん納入した検定料は、どのような理由があっても返還しません。	
入学検定料フリーパス制度について	「入学検定料フリーパス制度」とは、本学の大学院の入学試験（同一年度内に限る）に再度出願する場合、2 回目の入学検定料を無料にする制度です。 なお、初回出願時の「E 票：入学検定料領収書（30,000 円）」が必要となりますので、領収書は紛失しないよう、保管してください。 ＊「E 票：入学検定料領収書」の再発行はできません。 ＊「E 票：入学検定料領収書」を紛失した場合は本学入試センターにお問い合わせください。 ＊ 入学検定料フリーパス制度を利用して出願する場合は、初回出願時の「E 票：入学検定料領収書（30,000 円）」をコピーし、必ず出願書類中の「A 票：志願票」裏面に貼付してください。	

3．出願期間

出願期間	9 月試験	**2018 年 9 月 3 日（月）～ 9 月 10 日（月）**
	2 月試験	**2018 年 12 月 21 日（金）～ 2019 年 1 月 4 日（金）**
注意事項	＊出願は郵送に限る（最終日消印有効）	

Ⅳ　選抜方法

地域文化研究科　南島文化専攻

一般選抜試験	①外国語　②専門科目　③面接	
推薦選抜試験	①専門科目　②面接	
社会人選抜試験	①専門科目　②面接	
選抜方法内訳	外国語	英語、フランス語、中国語、韓国語のうちから１つ選択し受験する。但し、外国人の場合は日本語とする。〔辞書（電子辞書を含む）持ち込み可〕
	専門科目	言語文化、民俗文化、先史・歴史文化、社会文化の４領域から１つ選択し、その領域に関する専門科目を受験する。

※民俗文化領域の受験希望者は、事前にご相談ください。

地域文化研究科　英米言語文化専攻

一般選抜試験 ※	①外国語　②専門科目　③面接	
推薦選抜試験 ※	①専門科目　②面接	
社会人選抜試験 ※	①専門科目　②面接	
渡日前入学許可制度	渡日前入学許可制度については P.14 を参照。	
選抜方法内訳	外国語	英語（日本語教育学を選択する外国人留学生の場合は日本語。但し、「日本語能力試験（JLPT)」N1 級、あるいは「日本留学試験（EJU)」で日本語科目「読解・聴読解・聴解」300 点以上の資格を持っている者は日本語試験を免除される。） ※辞書（電子辞書含む）持ち込み不可。
	専門科目	英米文学領域、言語教育学領域（英語教育学、日本語教育学）の２領域から１つ選択し、その領域の専門科目を１つ受験する。（※カッコ内は試験科目）

※日本国内で受験可能な外国人留学生含む。

地域文化研究科　人間福祉専攻

一般選抜試験	①外国語　②専門科目　③面接	
推薦選抜試験	①専門科目　②面接	
社会人選抜試験	①専門科目　②面接	
選抜方法内訳	外国語	英語〔辞書持ち込み可、但し、電子辞書は不可とする〕 社会福祉学領域と臨床心理学領域は各領域で独自に試験を課す
	専門科目	社会福祉学、臨床心理学の２領域から１つを選択し、その領域に関する専門科目を受験する。

地域産業研究科　地域産業専攻

一般選抜試験	①外国語　②専門科目　③面接	
推薦選抜試験	①専門科目　②面接	
社会人選抜試験	①専門科目　②面接	
外国人特別選抜試験	①専門科目　②面接	
渡日前入学許可制度	渡日前入学許可制度については P.14 を参照。	
選抜方法内訳	外国語	英語〔辞書（電子辞書を含む）持ち込み可〕
	専門科目	経済領域（地域社会経済システム、産業組織）、沖縄・環境経済領域（沖縄経済、環境経済）、経営領域（マーケティング、比較経営）、産業情報領域（応用計量経済）の 4 領域から 1 つ選択し、その領域の専門科目を 1 つ受験する。 ＊カッコ内は試験科目。

法学研究科　法律学専攻

一般選抜試験 ※	①外国語　②専門科目　③面接	
推薦選抜試験	①専門科目　②面接	
社会人選抜試験	①専門科目　②面接	
選抜方法内訳	外国語	英語〔辞書（電子辞書を含む）持ち込み可〕
	専門科目	憲法、行政法、税法、国際法、法哲学、法制史、民法、商法、刑法、刑事政策、国際私法、労働法、民事訴訟法から 2 科目選択し、受験する。（六法は大学が用意する）

※外国人留学生含む。

Ⅴ　出願資格審査・出願資格審査合格者選抜試験

1．出願資格審査

出願資格審査とは、本大学院が「大学を卒業した者」と同等以上の学力があるか否かを出願前に審査することです。審査の結果、認定された場合のみ出願が許可されます。

（1）対象者

出願資格④（又は～以下文）、⑤、⑨、⑫（P.5 参照）に該当する者が対象です。

（2）実施研究科専攻

地域文化研究科　南島文化専攻
地域文化研究科　英米言語文化専攻
法学研究科　法律学専攻

（3）手続き及び審査方法

①試験日程等

出願資格審査試験日	9 月試験と同一の日程で行う（P.4 参照）。
審査料納入期間	
申込期間	
出願資格審査結果発表	

②出願資格審査料：30,000 円

③提出書類

	出願書類	留意事項
1	志願票Ａ～Ｃ票、宛名票	出願３か月以内に撮影した上半身脱帽正面無背景の写真を枠内に添付すること。縦 4cm ×横 3cm　＊カラーに限る。
2	出願資格審査願 ＊本学所定様式	必要事項を全て記載すること。
3	最終の卒業又は修了証明書及び成績証明書	出身学校の学校長が作成したもの ＊証明書氏名に改姓のある者は戸籍抄本を添付すること ＊提出する証明書は必ずオリジナル（原本）を提出すること（コピー不可）。オリジナル（原本）が提出できない場合は、Certified True Copy（卒業した学校又は公証人役場等の公的機関で、原本から正しく複製されたものであることを証明した書類＜例：公証書等＞）を提出すること。

④試験科目・試験時間

	試験科目	試験時間
1	専門科目	11：00 ～ 12：30（90 分）
2	面接	13：45 ～

※法学研究科の専門科目は、法学検定試験スタンダード〈中級〉コース相当の試験を行う。

2. 出願資格審査合格者選抜試験

（1）地域文化研究科南島文化専攻・英米言語文化専攻

出願資格審査に合格した者は、2 月試験日程に基づき、今年度「出願資格審査合格者選抜試験」を受けることができるので、出願資格審査合格通知書のコピー及び出願書類をそろえて出願期間に提出すること。

①試験科目・試験時間

	試験科目	試験時間
1	外 国 語 ※	9：00 ～ 10：30（90 分）＜英語＞
2	専 門 科 目	11：00 ～ 12：30（90 分）＜一般選抜試験と同様＞
3	面　　接	13：45 ～

※英米言語文化専攻のみ。但し、日本語教育学を選択する外国人留学生の場合は日本語。

（2）法学研究科法律学専攻

今年度又は過年度の出願資格審査に合格した者は､｢出願資格審査合格者選抜試験｣を受けることができる。

①試験日程等：9 月試験及び 2 月試験と同一の日程でそれぞれ行う（P.4 参照）。
但し、今年度の出願資格審査に合格した者は、2 月試験の日程でのみ受験できる。

②入学検定料：30,000 円（P.9 参照）

③提出書類：出願書類（P.8 参照）の他、出願資格審査合格通知書のコピー

④試験科目・試験時間

	試験科目	試験時間
1	専 門 科 目	11：00 ～ 12：30（90 分）　※ P.11 の同専攻専門科目参照
2	面　　接	13：45 ～

Ⅵ　渡日前入学許可制度

○**対象研究科**：地域文化研究科　英米言語文化専攻
　　：地域産業研究科　地域産業専攻

○**出願資格：次の（1）～（6）すべてに該当する者**

（1）　沖縄国際大学大学院のアドミッション・ポリシー（専攻別アドミッション・ポリシーを含む）を熟読し、十分に理解した者

（2）　日本に国籍を有しない者で、日本国以外の国に居住する者

（3）　入学迄に、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を取得できる者

（4）　外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者（入学迄に修了見込みの者を含む）、又はこれと同等以上の学力があると本研究科が認めた者

（5）　修学及び研究活動に必要な日本語能力を有する者

（6）　入学後は、渡日し、本学で単位を修得することが可能な者

○**出願資格に関する事前相談**

志願者は、自分が研究したい領域を見つけ、その領域を担当する専攻の教員と事前相談する必要があります。事前相談については、入試センターに問い合わせてください。

○**出願書類**

	出願書類	留意事項
1	入学志願票　A 票～ C 票	・上半身・正面・脱帽・無背景で出願 3 か月以内に撮影したカラー写真を枠内に貼付すること。 ・サイズは縦 4 ㎝×横 3 ㎝。
2	卒業証明書及び成績証明書	・出身大学の学長（又は学部長）が作成したもの。 ・提出証明書は必ずオリジナル（原本）を提出すること（コピー不可）。オリジナル（原本）が提出できない場合は、Certified True Copy（卒業した学校又は公証人役場等の公的機関で、原本から正しく複製されたものであることを証明した書類＜例：公証書等＞）を提出すること。 ・証明書が日本語または英語以外の言語で作成されている場合は公的機関の認証を受けた日本語または英語の翻訳文を必ず添付すること。
3	推薦状	・指導教員、または各種団体の長の推薦状。
4	履歴書 ＊本学所定様式	・本学所定の用紙により提出すること。
5	志望理由書 ＊本学所定様式	・本学所定の用紙により提出すること。
6	研究計画書 ＊本学所定様式	・本学所定の用紙により提出すること。
7	業績報告書 ＊本学所定様式	・本学所定の用紙により提出すること。
8	パスポートのコピー	・写真、氏名、パスポート番号のページと日本への出入国歴のあるページのコピー（A4）を提出すること。
9	日本留学試験又は日本語能力試験の成績表のコピー	・2 年以内に受験した『日本留学試験（EJU）』の成績表のコピー（ただし、『日本留学試験（EJU）』が受験できない地域は、『日本語能力試験（JLPT）』の成績表のコピー）。
10	学位［学士］論文のコピー	ただし、最終出身学校で学士論文を作成してない者は不要。
11	入学検定料納入後の領収書のコピー	

※その他、必要に応じて追加書類の提出を求めることがあります。

○**選抜方法**

『日本留学試験』の成績（或いは『日本語能力試験』の成績）及び書類審査で合否を判定します。

『日本留学試験』では、「日本語」「理科」「総合科目」「数学」の４科目が出題されますが、本学では「日本語」の成績をもとに選考します。

○**入学検定料・入学検定料納入期間および出願期間**

入学検定料	入学検定料		30,000 円
	入学検定料納入期間および出願期間		**2018 年 9 月 3 日（月）～ 9 月 10 日（月）** ＊郵送に限る〔最終日消印有効〕
	検定料口座情報	沖縄国際大学銀行口座 Bank Account	学校法人沖縄国際大学理事長前津榮健 Gakko Hojin Okinawa International University The Chairman Eiken Maetsu 琉球銀行　宜野湾支店　普通預金　510216 Bank of Ryukyus Ginowan Branch Ordinary Account 510216
		住　　所 Address	日本国沖縄県宜野湾市宜野湾 2 － 6 － 1 2 － 6 － 1 Ginowan , Ginowan City , Okinawa , JAPAN
		金融機関識別コード SWIFT Code	RYUBJPJZ
		電話 Phone	+81-98-893-8945
		振り込み時の注意	※必ず志願者名で振り込むこと。もし他の人の名前で振り込む場合は、必ず入試センターに連絡すること。 ※振り込みに係る手数料等はすべて志願者負担です。振り込まれた金額が不足した場合受付できませんので、入学検定料 30,000 円に手数料等を加えた金額で送金すること。 ※振り込みに係る手数料は、受験者が居住する国の金融機関、送金先（日本）の金融機関両方で発生します。検定料に余剰、不足のないよう注意すること。

○**合格発表**

	日　時
日　　時	**2018 年 10 月 3 日（水）午前 11 時　日本時間**
●連絡事項	合格者の受験番号は、本学ホームページに掲載します。http://www.okiu.ac.jp/ 合格者には、合格通知書及び入学手続き書類を郵送します。不合格者には通知しません。

○**海外に居住する入学予定者に対する「在留資格認定証明書」交付の代行申請について**

海外に居住する本学入学予定者で、在留ビザ取得にかかる「在留資格認定証明書」の代行申請を希望する場合は、本学で代行申請を行います。「渡日前入学許可制度」を受験する予定の方で、代行申請を希望する場合は、出願時に必ずメールにて下記へ連絡してください。なお、本手続きは海外居住者を対象に行うもので、日本国内居住者に対する代行申請は行いません。

また、「在留資格認定証明書」交付の審査は入国管理局が行うため、本学が交付を保証するものではありません。

連絡先：沖縄国際大学　入試センター　entchr@okiu.ac.jp

Ⅶ　試験・合格発表

1．　試験日・試験科目・試験時間・試験会場

試験日	9 月試験	**2018 年 9 月 23 日（日）**
	2 月試験	**2019 年 2 月 3 日（日）**
試験科目・試験時間	外 国 語	9：00 ～ 10：30（90 分）＜一般選抜のみ＞
	専門科目	11：00 ～ 12：30（90 分）
	面　　接	13：45 ～
試験場	本学（試験室は、試験当日掲示する）	

2．合格発表及び入学手続書類の交付

	9 月試験	2 月試験
日時	**2018 年 10 月 3 日（水）午前 11 時**	**2019 年 2 月 19 日（火）午前 11 時**
●連絡事項	本学構内掲示板と本学ホームページ（ http://www.okiu.ac.jp/ ）に掲示し、合格者には合格通知書及び入学手続書類を郵送する。なお、不合格者には通知しない。	

Ⅷ　出願・受験上の注意

1．出願上の注意

① 出願書類は、本学指定の出願用封筒に入れて、**「速達書留」**にし、郵便事情を考慮して、早めに発送すること。

② 入学検定料は、本学所定の入学志願票（A ～ F 票）に必要事項を記入のうえ、金融機関で振り込むこと。なお、郵便局での振り込みはしないこと。

③ 出願書類に不備がある場合は、受け付けない。

④ いったん提出した書類及び入学検定料は、どのような理由があっても返還しないので、その旨承知しておくこと。

⑤ 受験票は郵送するので、必ず郵便番号・住所・氏名を丁寧にかつ正確に記入すること。試験 3 日前までに受験票が届かない場合は、下記へ連絡し、指示を受けること。

沖縄国際大学　　入試センター　　098-893-8945

2．受験上の注意

① 試験当日は試験開始 15 分前までには入室すること。なお、試験開始後 30 分経過した後の受験は認めない。

② 受験票は必ず持参し、机上に提示すること（忘れた場合は、入試本部で指示を受けること）。

③ 筆記用具は鉛筆または、シャープペンシル（いずれも HB）に限る。

④ 下敷の使用は認めない。

⑤ ウェアラブル端末、携帯電話等の使用を禁止します。時計としても利用できないので、試験室へ入室する前に電源を切り、バッグ等に収めてください。

受験生の個人情報の取扱いについて

出願に際し志願者から提供していただいた個人情報については、志願者への連絡や入学試験実施、合格通知及び入学手続作業以外には利用いたしません。

Ⅸ　入学手続

1．入学手続期間および入学時納入金の納入について

合格者は、下記の期間内に入学時納入金を一括して納入すること。入学時納入金の納入を済ませた者は、必ず下記の期間内までに入学手続を完了すること［郵送に限る（最終日消印有効）］。

入学時納入金は、本学所定の振込用紙（合格通知書及び入学手続書類と同封）に必要事項を記入し、金融機関で期間内に振り込むこと。**なお、所定の期日までに手続きを完了しなかった者は、入学の意志がなく入学を辞退したものとして取り扱います。**

9 月試験	2 月試験
2018 年 10 月 4 日（木）～ 10 月 15 日（月）	**2019 年 2 月 20 日（水）～ 3 月 1 日（金）**

＊入学手続に関する詳細については、合格者に入学手続書類（合格通知書と同封）を送付するので熟読すること。
＊ 9 月試験合格者で大学在学中の者（2019 年 3 月卒業見込みの者）は 9 月試験の納入期間に入学金のみを納め、2 月試験の納入期間に授業料、施設設備資金、後援会費、校友会費、学生保険料を納入することも可能。その場合、納付書のコピーを入試センターへ郵送すること。

2．入学金及び諸学費

種　　別		金額（円）	備　考
入　学　金		120,000	本学卒業生は半額 60,000 円
授　業　料	前　期	185,000	年額　370,000 円
	後　期	185,000	
施設設備資金	前　期	50,000	年額　100,000 円
	後　期	50,000	
後　援　会　費	年　額	12,000	年額　12,000 円
校　友　会　費	終　身　会　費	20,000	本学卒業生は免除
学　生　保　険　料	在　学　期　間	2,430	2 年分 2,430 円
合　計	初年度納入金	624,430	本学卒業生は 544,430 円

＊ 入学時納入金　389,430 円【本学卒業生は 309,430 円】（後期の授業料と施設設備資金は含まれない。）
＊ 地域文化研究科人間福祉専攻臨床心理学領域では、入学後、学外実習費を別途に徴収します。

3．学費返還手続

入学手続完了後に、やむを得ず本学大学院への入学辞退をする者については、本学大学院所定の学費返還手続により、納入した入学時納入金から入学金を除いた額を返還する。

申請締切日	**2019 年 3 月 31 日（日）　17：00 まで（窓口受付）**
受付場所	入試センター（窓口取扱時間 9：00 ～ 17：00）
返還方法	申請者指定の銀行口座振込（4 月下旬予定）
注　意	＊入学金は返還しない。 ＊学費返還申請書の提出は原則持参とするが、土、日、祝日の場合や、やむを得ず郵送する場合は必ず入試センターへ事前連絡の上、書留等の配達記録が確認出来る方法で送付すること。 （郵送受付：**2019 年 3 月 22 日（金）17:00 必着**）

X　大学院入試 Q&A

1	Q	入試制度について教えてください。
	A	本大学院では、以下のとおり入試制度を設けています。 「一般選抜試験」「推薦選抜試験」「社会人選抜試験」「外国人特別選抜試験（地域産業研究科のみ）」「渡日前入学許可制度」 受験日程や受験資格等の詳細については、本要項の該当ページを参照してください。
2	Q	教員の研究内容を詳しく知りたいのですが、どうすればいいですか？
	A	大学院担当教員の研究概要の情報は、本学のホームページから閲覧することができます。 http://www.okiu.ac.jp/academic/teacher/index.html より詳しい研究内容を知りたい方は、事前に該当教員とアポイントを取って、研究室訪問等を行ってください。
3	Q	過年度の修士論文テーマを知りたいのですが、どうすればいいですか？
	A	大学院案内等に一部掲載していますが、本学の図書館に過年度の修士論文が保存されていますので、希望研究科の修士論文テーマについては、許可を受ければ閲覧することができます。なお、一部閲覧ができない論文もあります。
4	Q	過去問題がほしいのですが、どうすればいいですか？
	A	過去の入学試験問題は、入試センターで配布していますので、入試要項と併せて請求してください。 TEL 098-893-8945
5	Q	社会人で仕事をしながら通学を考えております。夜間の授業の実施状況を教えてください。
	A	本学大学院は、昼夜開講制で、ほとんどの授業が、夕方以降に設定されています。また、土曜日も開講しています。 ただし人間福祉専攻臨床心理学領域については、修士１年及び２年ともに外部機関での実習がありますので、その間仕事との関係で調整が必要です。
6	Q	受験を考えている分野の学部・学科出身でないのですが、受験できるでしょうか？
	A	受験できないことはありません。しかし、大学院の講義・実習は、基本的知識があるものとして進められます。不安に感じる方は、入学後、学部の授業科目を受けられる制度（学部科目等履修制度）がありますので、是非活用してください。 また、他の方法としては、本学に３年次編入していただき、当該分野の基礎を学習してから大学院受験されることをおすすめします。
7	Q	卒業論文を書いていない場合は、どうすればいいですか？
	A	出願書類の所定用紙に、卒業論文が卒業の要件としない大学のため、卒業論文を書いていないことを記入して、提出してください。
8	Q	修業年限は何年ですか？
	A	標準修業年限は２年ですが、最長４年まで在籍できます。
9	Q	公認心理師の資格は修了と同時に取得できますか？
	A	修了しただけでは取得できません。公認心理師のカリキュラムを修めて修了すると公認心理師国家試験の受験資格を得ることができます。公認心理師になるには、その試験を受験し合格する必要があります。国家試験は修了した年の秋に受験できます。なお。公認心理師国家試験の受験資格を得るためには、公認心理師のカリキュラムを持つ大学において公認心理師法に定められた 25 科目を修得し卒業する必要があります。2022 年までの特例期間は、出身大学で履修した科目を上記 25 科目に読み替えることが可能とされています。科目の読み替えについては出身大学にお問い合わせください。

10	Q	日本臨床心理士資格認定協会第１種指定校になっていますか？
	A	大学院地域文化研究科人間福祉専攻臨床心理学領域が、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の実施する「臨床心理士」の資格試験に関する受験資格を有する大学院（1 種）として指定されています。第１種指定校ですので、大学院在学中の実習経験だけで修了後に臨床心理士試験の受験資格が得られるようになりました。
11	Q	臨床心理士の資格は修了と同時に取得できますか？
	A	修了しただけでは取得できません。第１種指定校の場合、修了すると、日本臨床心理士資格認定協会の主催する臨床心理士資格試験の受験資格を得ることができます。臨床心理士になるには、その試験を受験し合格する必要があります。本学は、第１種指定校ですので、修了した年の秋に受験できます。
12	Q	学位による税理士試験科目の免除を受けることができますか？
	A	①法学研究科において、税法に関する研究により学位を取得した場合は、「税法に属する科目」の免除申請をすることができます。 ②地域産業研究科において、会計学に関する研究により学位を取得した場合は、「会計学に属する科目」の免除申請をすることができます。 ＊「学位による試験科目免除」制度の詳細は国税庁の HP （URL：http://www.nta.go.jp/sonota/zeirishi/zeirishishiken/qa/menu.htm）をご覧ください。
13	Q	出願書類について、強調したい部分をカラー印字にしたり、図表をカラーで挿入したりしたいのですが、良いですか？
	A	構いません。ただし、その結果、かえって読みにくくなるようなものは避けてください。
14	Q	「志望理由書」、「研究計画書」は２枚以内、「業績報告書」は１枚以内とのことですが、記入欄が不足する場合は、様式の枠を広げたり、用紙を追加したりして記入してもよいのでしょうか？
	A	所定の様式の改変や追加は、行わないでください。また、HP から所定様式をダウンロードして書き込んでいく際、記入する内容によっては、枠が次の頁までズレ込んでしまうようなケースが考えられますが、これも行わないでください。また、出願者の判断で、欄を増やしたり、減らしたりすることは出来ません。
15	Q	所定様式をダウンロードしようとしましたが、罫線がずれたり、一部に文字化けがあったりします。どうすればいいですか？
	A	各所定様式は、お使いの個々の PC の動作環境によって、不自然な罫線のズレや改行、または、文字化け等の不具合が発生する場合がありますが、個々の動作環境にかかるお問合せには応じかねます。お手数ですが、「大学院入試要項」の出願書類を参照し、適宜、修正を施してください。
16	Q	HP からダウンロードした出願書類の所定様式と「大学院入試要項」の出願書類の様式の枠の大きさが若干違いますが、どうすればいいですか？
	A	ダウンロードしたファイル自体には、不自然な部分が見当たらない場合であっても、プリントアウトの際、所定の様式と若干の差異を生じることがあります。このような場合には、様式の構成に変更がなく、罫線の位置がミリ単位でズレている程度であれば、特に問題はありません。
17	Q	出願書類を送付後、誤りに気づきました。差し替えを行いたいのですが、どうすればいいですか？
	A	出願書類を提出後に、差し替えを行うことは出来ません。提出前に、十分に確認を行った後、提出してください。

出願書類（本学所定様式）一覧表

研　究　科	専　　攻	履　歴　書	志望理由書	研究計画書	業績報告書
地域文化研究科	南島文化専攻	○	○	○	○
	英米言語文化専攻	○	○	○	○
	人間福祉専攻	○	○	○	○
地域産業研究科	地域産業専攻	○	○	○	○
法学研究科	法律学専攻	○	○	×	×

○：要提出　　×：提出不要

【注意事項】

＊　本学所定様式以外の書類（推薦状、在職証明書等）は、任意様式ですので、各自で取り揃えてください。

＊　必要書類は、「2019 年度大学院入学試験要項」（P.8）を必ず参照の上、取りまとめてください。
上記の書類が出願書類の全てではありません。

＊　本学所定様式のレイアウトの変更、改変等は、一切認めません。極端に行った場合、出願書類の受付は行いません。

＊　極端に小さい文字、行間、文字間の狭いものなど、読みづらいものは避けてください。
極端な場合は、出願書類の受付は行いません。

＊　本学所定様式は、本学 HP からダウンロードできます。
（ http://admission.okiu.ac.jp/ ）

履　　歴　　書

（西暦）　　年　　月　　日

フリガナ			志望先	
氏　　名			研究科名	
			専攻名	
			領域名	
生年月日	年　　月　　日生	性別	男 ・ 女	本籍（外国人は国籍） 都・道・府・県
	（2019年4月1日現在　　歳）			
現住所 連絡先	〒　　—			（　　様方） 自宅TEL（　　）　　— 携帯TEL（　　）　　— E-mail ※PCからのメールを受信できるもの

写　真
入学志願票と同一の写真を貼付すること

年　　月	学　　歴（高等学校卒業から記載してください）

年　　月	職　　歴（所属部署・業務内容）

健康の状況		休学	期間	年　月　日～　年　月　日（　年　月）
				年　月　日～　年　月　日（　年　月）
			理由	

志望理由

本欄には、具体的な志望理由について、その要旨を記述してください。特に次の点については、可能な限り、具体的かつ明確に書いてください。（2枚以内にまとめること。）

①本学大学院を志望するに至った経緯

②学習状況（学習履歴、現在学習していること、適宜、参考にしている文献や資料について）

③入学後、何をどこまで研究したいのか

氏名		沖縄国際大学大学院

志望理由（つづき）

氏名		沖縄国際大学大学院

＊法学研究科は不要　　【研究計画書2-1】

研究計画および方法

本欄には、具体的な研究計画および方法について、その要旨を記述してください。特に次の点については、可能な限り、具体的かつ明確に書いてください。（2枚以内にまとめること。）

①. 研究テーマ　②. 研究の目的　③. 先行研究の概要　④. 調査・分析の方法

⑤. 期待される成果（研究成果を今後の実践活動にどのように活かしていくかについて）

氏名		沖縄国際大学大学院

＊法学研究科は不要

【研究計画書2-2】

研究計画および方法（つづき）

氏名		沖縄国際大学大学院

＊法学研究科は不要　　【業績報告書1-1】

業績報告書：

本欄には、卒業論文、ゼミにおける研究活動、社会活動（自分の研究にかかわるものに限る）等について、その要旨を記述してください。なお、学会誌等へ発表した論文、学会誌等における発表がある場合は、「論文名、掲載誌名、査読の有無、巻号、最初と最後の頁、発表年」「学会等の名称、発表年」を記載してください。　（１枚以内にまとめること）

氏名		沖縄国際大学大学院

出願資格審査願

（西暦）　　年　　月　　日

地域文化研究科		法学研究科
1 南島文化専攻 （　　）言語文化 （　　）民俗文化 （　　）先史・歴史文化 （　　）社会文化	2 英米言語文化専攻 ①英米文学 （　　） ②言語教育学 （　　）英語教育学 （　　）日本語教育学	（　　）法律学専攻

大学院受験を希望しますので、出願資格審査を申請致します。

沖縄国際大学　大学院

受験番号	※		
フリガナ		本籍（外国人は国籍）	最 終 学 歴
氏　名			
生年月日	年　　月　　日生	2019年4月1日現在　　満　　歳	
現住所 連絡先	〒　　—	（　　様方） 自宅TEL　（　　）　　— 携帯TEL　（　　）　　— E-mail ※PCからのメールを受信できるもの	

①志望理由　②主な学歴　③国際的活動経験等　④実務経験及び免許・資格等（別紙添付可　A4サイズ　2枚以内）

ACCESS MAP

交通アクセス

空港・那覇南部方面からのアクセス

那覇空港

- バス
  - バス停：国内線旅客ターミナル前より乗車
  - 25 普天間空港線（30〜40 分間隔）
  - 所要時間：約70分／料金610円
  - バス停：長田下車、徒歩７分
- モノレール
  - 所要時間：約12分／料金260円
  - 県庁前駅下車、徒歩約3分
  - バス
    - バス停：県庁北口より乗車
    - 所要時間：約50分／料金570〜610円
    - 98 琉大線（20〜30分間隔）　バス停：沖縄国際大学前下車
    - 110 長田具志川線（30分間隔）　バス停：沖縄国際大学前下車
    - 21 新都心具志川線（30〜40分間隔）　バス停：長田下車、徒歩約7分
    - 24 那覇大謝名線（30〜40分間隔）　バス停：長田下車、徒歩約7分
    - 27 屋慶名（やけな）線（20〜60分間隔）　バス停：長田下車、徒歩約7分
    - 90 知花線（15〜30分間隔）　バス停：長田下車、徒歩約7分
    - 92 那覇〜イオンモール線（1日5本）　バス停：長田下車、徒歩約7分
- タクシー
  - 所要時間：約40分／料金約3,200円
- 高速バス
  - バス停：国内線旅客ターミナル前より乗車
  - 111 高速バス（30 分間隔）
  - 所要時間：約40分／料金740円
  - バス停：琉大入口下車、徒歩約３分
  - のりかえ バス
    - バス停：琉大北口より乗車
    - 所要時間：約10分／料金160円
    - 98 琉大線（20〜30分間隔）　バス停：沖縄国際大学前下車

沖縄国際大学

北部方面からのアクセス

名護バスターミナル

- 高速バス
  - バス停：名護バスターミナルより乗車
  - 111 高速バス（30 分間隔）
  - 所要時間：約70分／料金1,760円
  - バス停：琉大入口下車、徒歩約３分
  - のりかえ バス
    - バス停：琉大北口より乗車
    - 所要時間：約10分／料金160円
    - 98 琉大線（20〜30分間隔）　バス停：沖縄国際大学前下車
- バス
  - バス停：名護バスターミナルより乗車
  - 120 名護西空港線（40 分間隔）
  - 所要時間：約110分／料金1,650円
  - バス停：大謝名下車
  - のりかえ バス
    - バス停：大謝名より乗車
    - 所要時間：約15分／料金210円
    - 27 屋慶名（やけな）線（5〜10分間隔）　バス停：長田下車、徒歩約7分